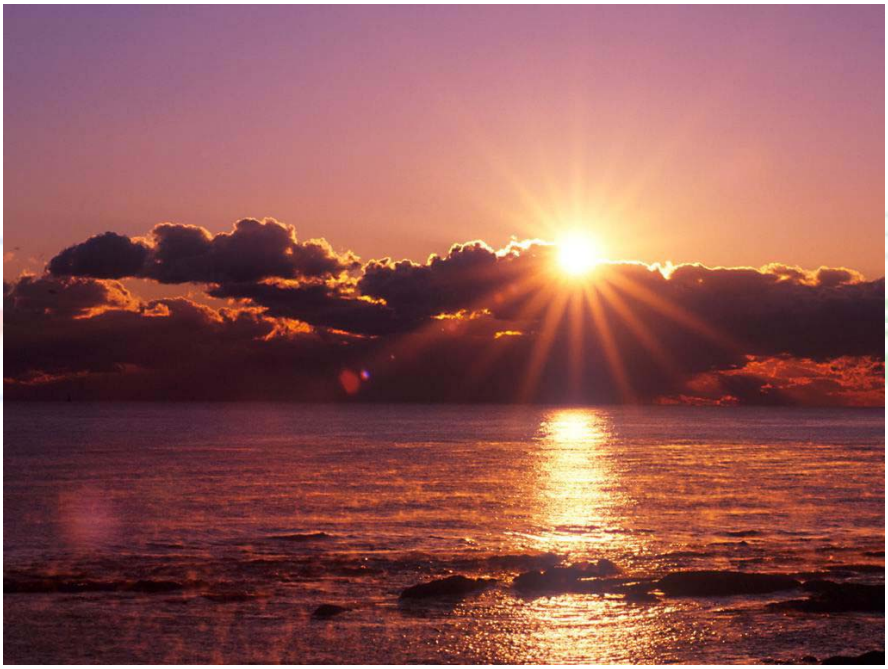
平成 28 年度版

エコアクション21
認証番号 0006009

エコアクション 21 環境活動レポート

次世代に残る！地球と会社を目指します！



対象期間：平成 28 年 06 月 01 日～平成 29 年 05 月 31 日

SAFETY & DEVELOPMENT
庄野電気

〒664-0012　兵庫県伊丹市緑ヶ丘１丁目 324 番地

庄野電気工事株式会社

TEL　072-782-1375　　FAX　072-770-4409

URL　http://www.shonodenki.com

E-MAIL　info@shonodenki.com

発行年月日：平成 29 年 7 月 31 日

目　次

①	環境方針	1
②	組織の概要	2
③	環境負荷の実績と環境目標	3-4
④	環境活動計画の取組結果とその評価	5
	次年度の取組内容	6
⑤	来期環境活動計画	7
⑥	定期会議	8
⑦	環境関連法規制等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無	9
⑧	代表者による全体評価と見直しの結果	10
⑨	年間計画スケジュール(PDCA)	11

SAFETY & DEVELOPMENT
庄野電気

環　境　方　針

制定日：平成 21 年 12 月 01 日

改定日：平成 23 年 07 月 27 日

〔基本理念〕

当社は「信用を重んじる」をモットーに、お客様第一の電気設備工事を創造する会社として、常に環境への配慮を考えた事業、活動を展開する。次世代に残るより良い地球環境の創造を目指します。

〔行動指針〕

1.環境経営システムを構築し次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。

① 省エネ（電気）省資源（化石燃料）推進によるCO_2　削減
② 廃棄物分別の徹底と再生利用の向上・施工方法改善による発生量・排出量の削減
③ 用水使用量の削減
④ 事務用品及び工事資材のグリーン購入の推進
⑤ 環境にやさしい施工の推進、環境配慮型製品の販売促進

2.環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。

3.環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

4. この環境方針を全従業員に周知させます。

代表取締役社長　安野隆二

組織の概要

●事業所名及び代表者名

庄野電気工事株式会社

代表取締役社長　庄野　隆二

●所在地

〒664-0012

兵庫県伊丹市緑ヶ丘１丁目 324 番地　【　対象事業所　】

●環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　庄野　隆二

環境管理担当者　井月　大輔・庄野　晴美

ＴＥＬ：072-782-1375

●事業内容

電気設備・電気通信設備・消防設備・環境保全設備の工事

●活動範囲

電気設備・電気通信設備・消防設備・環境保全設備の工事

●対象事業所

本社

●事業の規模

活動規模	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
売上高	百万円	801	702	638
従業員	人	15	17	16
床面積	㎡	３５１．４２	３５１．４２	３５１．４２

環境負荷等の実績と環境目標

表1.環境目標設定書

環　境　目　標

	単位	基準年度 平成21年度	2016年度 平成28年度	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	42,112	38,588	38,244	37,904
電力使用量	kWh	30,215	24,474	24,323	24,172
電気使用量（二酸化炭素排出量）	Kg-CO2	15,772	12,775	12,696	12,618
ガソリン使用量	ℓ	10,993	10,773	10,663	10,553
ガソリン使用量（二酸化炭素排出量）	Kg-CO2	25,522	25,012	24,756	24,501
軽油使用量	ℓ	312	305	302	299
軽油使用量（二酸化炭素排出量）	Kg-CO2	818	801	792	785
産業廃棄物排出量	t	※35.45	35.09	34.74	34.39
総排水量	m³	110	103.4	102.3	101.2
グリーン購入	品目	※8	13	14	15
環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進	件	※24	29	30	31

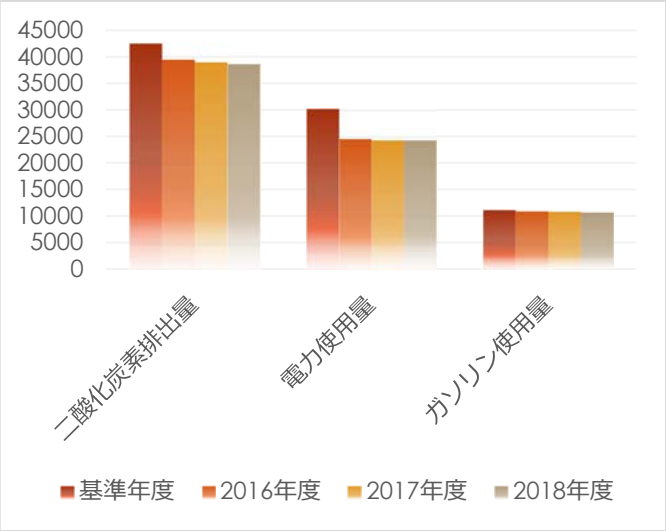
※二酸化炭素排出係数（0.522KgCO2/kWh）

平成28年度から平成30年度までの目標を設定し、平成20年12月より活動に取り組んでいる。

※グリーン購入・環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進に関しては平成24年度より実施。

※ガソリン及び軽油使用量につきましては、平成26年度を基準値に変更（ディーゼル車からガソリン車へ買換えの為）

※産業廃棄物については現場の金属くずをプラス。基準年度を平成27年度に設定した。（※）



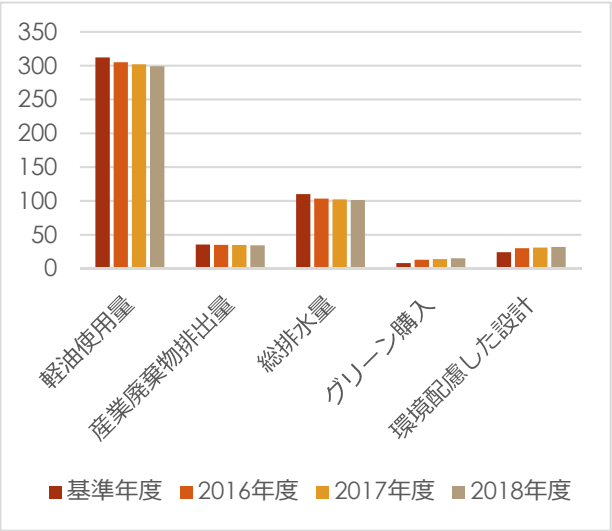
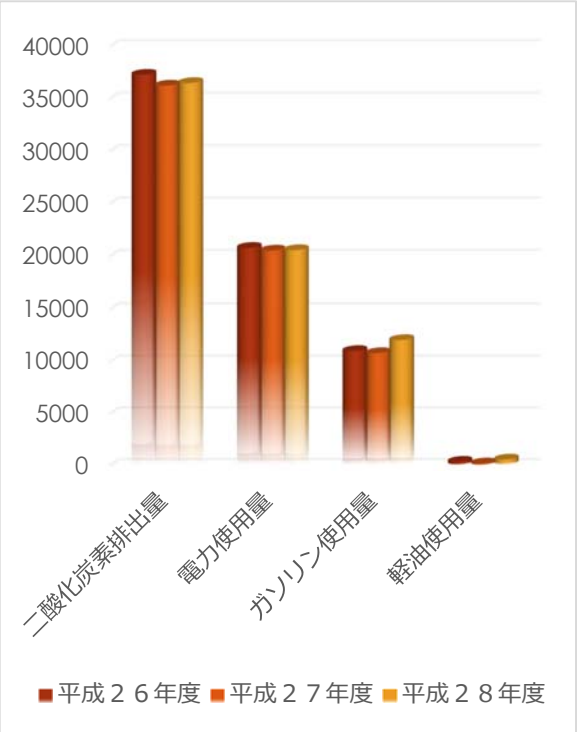
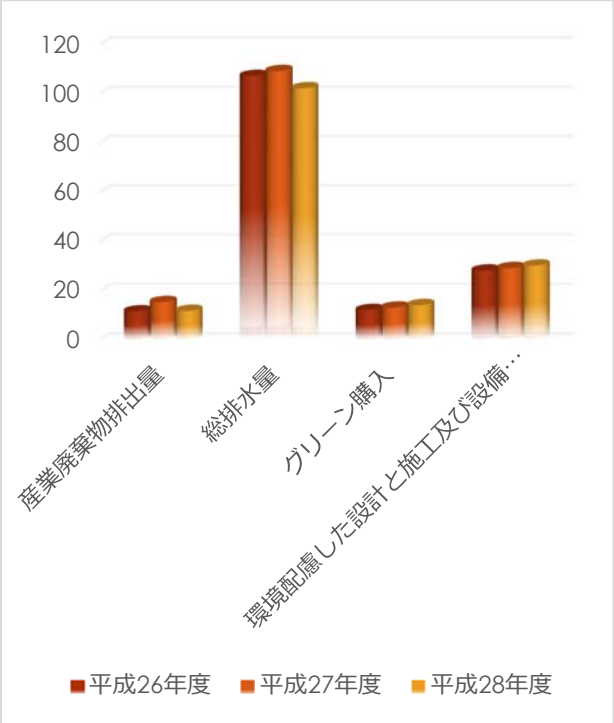


表 2. 主な環境負荷等の実績

項　　目	単　位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	37,251	36,217	36.462
電力使用量	kWh	20,759	20,502	20,542
電気使用量（二酸化炭素排出量）	Kg-CO2	10,836	10,702	10,723
ガソリン使用量	ℓ	10,993	10,797	10,464
ガソリン使用量（二酸化炭素排出量）	Kg-CO2	25,522	25,066	24,293
軽油使用量	ℓ	312	154	529
軽油使用量（二酸化炭素排出量）	Kg-CO2	818	404	1,388
産業廃棄物排出量	t	11.48	28.15 金属くずプラス 35.45	11.66 金属くずプラス 33.64
総排水量	㎥	107.0	109	102
グリーン購入	件	12	13	14
環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進	件	27	29	30





環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

電力による二酸化炭素排出量の削減		
蓄電池の導入 週に1度のノー残業デーの実施	○達成	隔週にて週2回のノー残業ＤＡＹの実施 空調機の買い替え検討

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
空気圧チェック（給油時） 自転車の活用（営業） エコドライブ10の勧めの周知・徹底	○達成	ルートの設定（最短距離の把握） 車内の整理整頓の徹底 ガソリン最安値のリサーチの徹底

産業廃棄物の削減		
金属廃棄物の売却の徹底 分別の徹底	○達成	金属廃棄物の売却の徹底

水道水の削減		
ため水洗いの徹底	○達成	意識向上のポスター掲示

グリーン購入		
作業服のエコマーク認定商品の購入	○達成	グリーン購入法判断基準対応商品の優先購入 エコマーク認定商品の購入

環境配慮した提案		
環境配慮した地域づくりの提案活動 新規事業すまいのおたすけ隊の活動強化	○達成	エコシルフィの提案

建設副産物のリサイクル率向上		
分別の徹底・家電リサイクルの実施	○達成	産廃のリサイクル率については、66%を目標にリサイクルの分別を徹底する。

平成 28 年度の主な取組として

セミナー開催（社会保険について）

ＬＥＤ照明提案

地域に貢献

ゴーヤ栽培

環境活動の取組結果

二酸化炭素排出量
- 平成21年度実績 42,475 (kg－CO2)
- 平成28年度目標 38,588 (kg－CO2)
- 平成28年度実績 36,462 (kg－CO2)
- 削減率 ≒6%

電力使用量
- 平成21年度実績 30,215 (kWh)
- 平成28年度目標 24,474 (kWh)
- 平成28年度実績 20,542 (kWh)
- 削減率 ≒17%

ガソリン使用量
- 平成26年度実績 10,993 (ℓ)
- 平成28年度目標 10,773 (ℓ)
- 平成28年度実績 10,464 (ℓ)
- 削減率 ≒3%

軽油使用量
- 平成26年度実績 312 (ℓ)
- 平成28年度目標 305 (ℓ)
- 平成28年度実績 529 (ℓ)
- 増加率 ≒72.9%

産業廃棄物排出量
- 平成27年度実績 35.45 (t)
- 平成28度目標 35.10 (t)
- 平成28年度実績 33.64 (t)
- 削減率 ≒5%

総排水量
- 平成21年度実績 110 (㎥)
- 平成28年度目標 103.4 (㎥)
- 平成28年度実績 102 (㎥)
- 削減率 ≒2%

自動車燃費率
- 平成21年度実績 9.6 k m/ℓ
- 平成28年度目標 10.4 k m/ℓ
- 平成28年度実績 13.1 k m/ℓ
- 増加率 ≒26%

グリーン購入
- 平成24年度実績 8 (件)
- 平成28度目標 12 (件)
- 平成28年度実績 14 (件)
- 増加率 ≒16%

環境配慮した設計
- 平成24年度実績 24 (件)
- 平成28年度目標 29 (件)
- 平成28年度実績 30 (件)
- 増加率 ≒3%

※　弊社の工事請負内容を考慮し、平成 21 年度を基準値とした目標設定にした。

工事現場が下請け工事もあるため、弊社ではその環境負荷を目標管理できず、元請けのマネンジメントシステムの管理下で活動している。又、残り２０％の自社施工分については電気、水は客先支給であるため、化石燃料と廃棄物については本社分を合算して環境目標設定しているので、工事現場の目標設定と活動計画の策定は行っておりません。尚、ガソリン・軽油量の基準値については、軽油使用のトラックをガソリン車に変えたので平成 26 年度の実績を基準値とした。軽油使用量については高所作業車の使用頻度が上がり使用量が増加している。産業廃棄物の削減において現場都合上もあるが金属くずのリサイクルを徹底する。グリーン購入・環境配慮した設計・施工及び設備の提案の促進に関しては平成 24 年度より実施のため、平成 24 年度を基準値とした。

ｶﾛｰﾗﾌｨｰﾙﾀﾞｰHV①
- 年間ガソリン使用量⇒378.76ℓ
- 走行距離
- ⇒7521km
- 燃費↓　平均21.8

ｶﾛｰﾗﾌｨｰﾙﾀﾞｰHV②
- 年間ガソリン使用量⇒741.72ℓ
- 走行距離
- ⇒14051km
- 燃費↓　平均19.4

クリッパー
- 年間ガソリン使用量⇒1035.88ℓ
- 走行距離
- ⇒11374km
- 燃費↓　平均11.4

バネット
- 年間ガソリン使用量⇒1676.4
- 走行距離
- ⇒14369km
- 燃費↓　平均8.8

バネット
- 年間ガソリン使用量⇒1210.41ℓ
- 走行距離
- ⇒10758km
- 燃費↓　平均8.8

クリッパー
- 年間ガソリン使用量⇒1348.52ℓ
- 走行距離
- ⇒10751km
- 燃費↓　平均7.9

クリッパー
- 年間ガソリン使用量
- ⇒1100.22ℓ
- 走行距離
- ⇒12759km
- 燃費↓平均11.7

ミライース
- 年間ガソリン使用量
- ⇒961.54ℓ
- 走行距離
- ⇒17102km
- 燃費↓　平均17.9

※毎月の全体会議にて各車の燃費の発表、評価を実施して社員の意識向上にもつながっている。

定期会議

第１回	平成 28 年 6 月 17 日	先月の光熱費の報告 平成 28 年度環境目標・活動計画の説明　☆良かった探し
第２回	平成 28 年 7 月 12 日	先月の光熱費の報告 ☆笑顔　産廃未達成について（現場増のため）
第３回	平成 28 年 8 月 12 日	先月の光熱費の報告 ☆体調管理　睡眠・運動・食事について
第４回	平成 28 年 9 月１6 日	先月の光熱費の報告 ☆電話応対　笑声（えごえ）について
第５回	平成 28 年 10 月 14 日	先月の光熱費の報告 ☆秋の健康管理　季節の変わり目について
第６回	平成 28 年 11 月 11 日	先月の光熱費の報告 ☆秋の交通安全　交通事故にあわないために・・・
第７回	平成 28 年 12 月 16 日	先月の光熱費の報告 ☆身の回りの整理整頓について
第８回	平成 29 年 1 月 20 日	先月の光熱費の報告 ☆新年　心機一転について
第９回	平成 29 年 2 月 17 日	先月の光熱費の報告 ☆体調管理について　　食事編
第 10 回	平成 29 年 3 月 16 日	先月の光熱費の報告 ☆コミュニケーションについて
第 11 回	平成 29 年 4 月 14 日	先月の光熱費の報告 ☆業務の効率化について
第 12 回	平成 29 年 5 月 18 日	先月の光熱費の報告 ☆季節の変わり目・体調管理について

上記のとおり毎月第 4 金曜日 18 時より「EA21 定期会議」を実施しています。
光熱費の報告・エコについて・環境についてなどの話し合い、社員間の意見交換の場として
有意義な時間が作れるようになりました。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりです。

適用される法規制等	適用を受ける内容	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物収集・運搬事業者及び廃棄物処理業者との委託契約 マニフェスト伝票の５年間保管 毎年 6 月 30 日までに産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	○
騒音規制法	特定建設作業開始の７日前までに市長への届出	○
振動規制法	特定建設作業開始の７日前までに市長への届出	○
自動車排出 NOｘ・PM 法	事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の排出抑制のために必要な措置を講ずるように努める。	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄・修理・整備時、ﾌﾛﾝ回収業者への引き渡し義務 4 半期に１回自社点検の義務	○
消防法	危険物保管の指定数量 1/5 以上の届出	○
下水道法	公共下水道管理者にあらかじめ届出	○

環境法規制等の順守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
過去３年間、関係機関等から環境関連法規制について指導、指摘等はありませんでした。
また、訴訟等も１件もありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

電　　力

目標達成

評　　価

社員全員の意識は良い風に習慣となっている。新入社員にもEA21の理解と協力を指導している。社内だけではなく、現場や自宅にても生かされている声をきくと大変有難く思う。

燃　　料

目標達成

評　　価

目標値のガソリンと軽油を分けて、基準値の変更を実施した。今後も全車ＨＶ車の導入を目指していく。社員同士での最短距離でのルート探しなどアイデアも出てきている。感謝である。

排　　水　　量

目標達成

評　　価

現在の節水による使用量削減には電力同様に限界があり、社員増員も視野に入れ、今後は現状維持を心掛け、コスト面でも余裕があれば自動水栓導入なども視野にいれていきたい。

産業廃棄物処理量

目標達成

評　　価

マニフェスト管理・分別の徹底・リサイクル促進、すべての課題はクリアできている。工事請負により排出量が増えるのは想定内である。リサイクル率66％を目標に策定、今後の課題である。

総括文

今期の総括として、ディーゼル車の買換により、ガソリン・軽油使用量の基準値を変更。今後も全車ＨＶ車となるように検討していく。社員同士での燃費率向上についての話がでたり、特売日の社内通達など１人１人の意識は向上している。「生産性」の大切さ、業務の効率化など、個人のスキルアップによる意識改革にもつながり、社内全体で「「働き方改革」を取組んでいる。社員１人１人が同じ目標に向かい、社員一丸となり「無駄を排除」費用対効果も視野にいれ、光熱費にしても、必要最小限の使用となるよう日々心がけしている。
今期も決算賞与の支給ができ、社員のみなさんへ還元できたことに心から感謝しています。

年間計画スケジュール（PDCA）

所在地

阪急「伊丹」駅より

伊丹市バス
49 番・50 番・
「緑ケ丘小学校前」下車
徒歩 3 分

発行日

環境活動レポート　VOL.1	平成 22 年 3 月　6 日
環境活動レポート　VOL.2	平成 22 年 5 月 31 日
環境活動レポート　VOL.3	平成 23 年 7 月 27 日
環境活動レポート　VOL.4	平成 24 年 7 月 31 日
環境活動レポート　VOL.5	平成 25 年 7 月 31 日
環境活動レポート　VOL.6	平成 26 年 7 月 31 日
環境活動レポート　VOL.7	平成 27 年 7 月 31 日
環境活動レポート　VOL.8	平成 28 年 7 月 31 日
環境活動レポート　VOL.9	平成 29 年 8 月 31 日

SAFETY & DEVELOPMENT
庄野電気